



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 **7**



17のグループにわかれてワークショップを実施しました。



大学生が消費者問題を明るく楽しく、かつ真剣に学んだ有意義な内容となりました。



消費者月間の企画として5月18日に兵庫県と大学生協阪神事業連合の共催で「ひょうごの消費者市民社会を大学生が創造するワークショップ」が、相楽園会館にて開催され、18大学から132名の大学生が参加しました。冒頭に、これまで消費者啓発活動等を実践してきた大学生28名に「くらしのヤングクリエイター活動認定証」が井戸敏三兵庫県知事より交付されました。



兵庫県学校生活協同組合 専務理事
兵庫県生活協同組合連合会 理事

林田 直喜
(はやしだ・なおき)

生涯のライフパートナーを 目指して

本年6月21日に開催されました兵協連第63回の通常総会で新しく理事に選任されました。不慣れではありませんが、皆様方にご指導いただきながら、精いっぱい務める所存です。よろしくお願ひします。

兵庫県学校生協は、1972年に設立し、県下の公立学校の教職員とその退職者を組合員としている職域生協です。学校生協は全国に41生協あり、日本生協連学協部会（支所）で連帯・連携しながら、生協活動を推進しています。

近年、組合員を取り巻く状況も大きく変化しており、学校現場では多様化・複雑化する教育課題への対応等でも高年齢化や独居化が進み、将来不安が増大している状況にあります。

こうした状況に向き合いながら、組合員とその家族の暮らしに役立つ商品・サービスの提供に努めているところです。

併せて、全国学校生協21世紀新ビジョン（2006年策定）を基本概念とした第17次中期3ヶ年経営計画の初年度として、「組織、経営、事業、連

帯・社会貢献」の各年度の行動計画を定め、「組合員とその家族の暮らしや仕事を総合的にサポートし、組合員の生涯のライフパートナーとなる」ことをミッションとして、取り組んでいます。

一方では、学校教育支援事業として、南極観測隊員の経験者を講師に招き、未来を担う子どもたちが将来の夢や環境保護、仲間との支え合い等を考える機会とする「南極教室」を県下各地域の学校で開催しています。

また、東日本大震災の復興支援については、福島原発事故に伴う放射能汚染問題をはじめとして、今なお被災された方々の心や傷痕は深く、今後も微力ながら、復興を支援する活動を継続していきたいと考えております。

社会環境も厳しく、明るい話題も少ない時代であるからこそ、組合員に身近で安心感が実感できる生協へと発展するよう、これからも粘り強く取り組んでいきたいと思ひます。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| 2. 想点 | 7. 兵庫県のページ |
| 3. 兵庫県生協連 第63回通常総会報告／
2013年度活動計画 | 8. 兵協連「東日本被災地支援活動」のご案内／
「労働安全衛生研修・学習会」のご案内／
県連日誌／編集後記 |
| 4. 第1回理事会報告／新執行体制 | |
| 5. 単協通信 生活協同組合コブこうべ／
2012年度第7回理事会報告／会員生協 単協人事 | |
| 6. 協同組合のかけ橋 | |

通常総会を開催

「基本テーマ」コミュニティー・ネットワークの構築 ～協同が息づく兵庫のまちづくり～

6月21日(金)兵庫県民会館において、兵庫県生協連第63回通常総会を開催しました。

代議員総数38名中、38名が出席し、(実出席32名、書面議決6名)2012年度活動報告、2013年度活動計画(案)など5つの議案について審議し、全議案が満場一致で可決されました。

初めに、兵庫県生協連 伴智代理事(生活協同組合コープこうべ理事)の司会ではじまり、本田英一会長理事が「昨年の『2012国際協同組合年』は過ぎましたが、よりよい社会をめざす、協同組合間連携の一つひとつの実践を積み重ね、生協の活動と事業を広く発信することが極めて重要です」と挨拶しました。続いて、来賓を代表して兵庫

県健康福祉部 福祉監・真木高司様、神戸市市民参画推進局 市民生活部長・中塚弘明様、兵庫県農業協同組合中央会 専務理事・浜田充様、日本生協連関西地連 事務局長・辻祥行様から、それぞれ大会の盛況と今後の発展を祈念したご祝辞をいただきました。

総会では、甲南女子大学生協の

塩田 恵美 代議員が議長に選任され、議事を行う。第1号議案2012年度活動報告ならびに決算報告及び剰余金処分案承認の件、第2号議案2013年度活動計画案ならびに収支予算案の件について三宅専務理事から提案・説明が行なわれました。続いて、藤田雄三 特定監事より監査報告がありました。

その後、地域、医療、大学、共済生協それぞれの分野の会員生協から、2012年度活動報告が行われました。最初に、生活クラブ都市生活・今西淳美 代議員から『「食育ひろば」の取り組みについて』と題して「食を通じて、人と人がつながることを発見する、食を担う生協としての子育て支援に取り組んでいきたい」とご報告いただきました。

次に、宝塚医療生協・岡本芳章 代議員から「40周年記念祝典に取り組んで」と題して『「健康まつり」』「記念誌の発行」『「記念祝典の開催」』など、地域において組合員と職員が更なる前進と発展を目指すことを確認いたしました」とご報告いただきました。

最後に、神戸市民生協・松下智博 代議員からは「共済專業組合に向けた取り組み」と題して「助け合い支え合う市民共済として、PRを通して地域活動を活性化させたい」とご報告いただきました。

その後、第1号議案、第2号議案の審議を行い、続いて第3号議案から第5号議案についても提案と審議が行われ、全ての議案が満場一致で可決・承認されました。

新しく兵協連理事に、林田直喜(兵庫県学校生協・専務理事)、真田尚(神戸市民生協・専務理事)、兵協連 監事に、木田克也(コープこうべ・常務理事)〔敬称略〕の各氏が就任されました。

神戸市市民参画推進局 市民生活部長 中塚 弘明



兵庫県健康福祉部 福祉監 真木 高司



神戸市市民参画推進局 市民生活部長 中塚 弘明



兵庫県農業協同組合中央会 浜田 充 専務理事



日本生協連関西地連 辻 祥行 事務局長

2013年度活動計画

〈基本テーマ〉コミュニティー・ネットワークの構築 ～協同が息づく兵庫のまちづくり～

重点課題

- 課題1. 会員の組織・経営基盤の強化に貢献します。
- 課題2. 会員生協間の事業と活動の連携と交流を促進します。
- 課題3. 協同組合間協同の前進をはかります。
- 課題4. 行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます。
- 課題5. くらし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます。

兵協連第1回理事会報告

- I. 開催日時 2013年6月21日(金)
午後3時30分～3時35分
- II. 開催会場 兵庫県民会館 11階「1103」
- III. 出席者 本田、寺尾、三宅、板崎、高橋、
福島、新保、伴、大沼、酒井、
若山、林田、眞田(以上、理事)
藤田、金丸、木田(以上、監事)



●生協対策資金貸付審査会 委員委嘱の件

生協対策資金貸付審査会規約第3条に基づき、2013年度の審査会委員として、兵庫県生協連会長理事の他6人が委嘱され、あわせて下記の7人が就任した。

- 本田 英一(兵庫県生協連・会長理事)
寺尾 善喜(兵庫県生協連・副会長理事)
三宅 康平(兵庫県生協連・専務理事)
板崎 聡(会員～神戸医療生協・専務理事)
大沼 和世(会員～生活クラブ都市生活・常任理事)
眞田 尚(会員～神戸市民生協・専務理事)
若山 忠義(学識経験～近畿労働金庫兵庫地区統括本部・本部長)

兵庫県生協連・2013年度 執行体制

○新任

役職	氏名	単協・役職名	役職	氏名	単協・役職名
会長理事	本田 英一	コープこうべ 組合長理事	理事	大沼 和世	生活クラブ都市生活 常任理事
副会長理事	寺尾 善喜	大学生協阪神事業連合 専務理事		酒井 行雄	兵庫労働共済生協 理事長
専務理事	三宅 康平	コープこうべ 統括部長		若山 忠義	近畿労働金庫兵庫地区統括本部 本部長
理事	板崎 聡	神戸医療生協 専務理事		○林田 直喜	兵庫県学校生協 専務理事
	高橋 秀行	関西学院大学生協 専務理事		○眞田 尚	神戸市民生協 専務理事
	福島 哲	尼崎医療生協 専務理事		藤田 雄三	姫路市民共済生協 理事長
	新保 雅子	コープこうべ 理事	金丸 正樹	ろっこう医療生協 専務理事	
	伴 智代	コープこうべ 理事	監事	○木田 克也	コープこうべ 常務理事

～ 退任の理事・監事 ～

小野田敏行
(神戸市民生活協同組合)

桑村 義敏
(兵庫県学校生活協同組合)



秦 正雄
(生活協同組合コープこうべ)

～ 新任の理事・監事 ～



眞田 尚 林田 直喜
(神戸市民生活協同組合) (兵庫県学校生活協同組合)



木田 克也
(生活協同組合コープこうべ)

実績ある講座から

多くの合格者が巣立っています

消費生活アドバイザーは、昭和55年に「消費者と企業のパイプ役」として創設された経済産業大臣と内閣総理大臣に認定された公的資格です。コープこうべ生活文化センターで受験講座が始まったのは、平成7年12月。組合員さんに生協での学習や活動を社会で生かしていただきたいとの思いで始まりました。

当講座の合格者は、18年間でのべ362人。全国の合格率約20%に比べ、平均約48%。確立されたカリキュラムと有資格者による手厚いケアで高い合格率を誇っています。



〈直近の合格者実績〉

※受講生数は通信生含む

	兵庫県の合格者	コープこうべ受講生合格者/受講生数
平成21年	42人	22人/36人
平成22年	32人	14人/42人
平成23年	36人	21人/38人
平成24年	29人	16人/50人
平成25年	26人	13人/21人

悪質な商法が年々増加している昨今、消費生活について幅広い知識を体系的に学び習得する事は、受験しなくても日々のくらしに大変役立ちます。そして、講座で学ぶ最新の消費生活情報は、キャリアアップにもつながり就職活動にも役立ちます。また、平成17年から消費生活専門相談員受験講座も併設。受講生からは「目からウロコで自分の無知がよくわかった」「人生が変わった」など、感謝の言葉をいただいています。

無料の「消費生活アドバイザー」と消費生活専門相談員資格制度説明会」は9月21日(土)10時～12時、コープこうべ生活文化センターで開催。詳しい制度の説明と学習方法や講座説明、合格者による体験談など具体的な話が聞けますので、ぜひご参加ください。

(通信員 榊原晶子)

2012年度 兵庫県生協連 第7回理事会報告

- I. 開催日時** 2013年6月3日(月) 午後1時59分～3時42分
II. 開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」
III. 出席者 本田会長理事、寺尾副会長理事、三宅専務理事、高橋、福島、新保、伴、大沼、酒井、若山(以上、理事) 藤田、金丸、秦(以上、監事)

〈協議事項〉

- 兵協連第63回通常総会招集に関する書面議決の取り扱いについて
- 兵協連第63回通常総会 議案「総会運営規約一部改定の件」追加、議案「議案決議効力発生の特」削除について
- 兵協連第63回通常総会議案
 - 第1号議案 2012年度活動報告承認の件
決算報告、剰余金処分案承認の件
監査報告
 - 第2号議案 2013年度活動計画および収支予算案承認の件
 - 第3号議案 役員補充選任の件
 - 第4号議案 総会運営規約一部改定の件
 - 第5号議案 役員報酬決定の件
- 兵協連2013年度会費額決定について
- ひょうご消費者ネット 役員就任の件

〈報告事項〉

- 県知事感謝、兵協連会長表彰、生協法周年記念に係る知事表彰について
- 分野別の各生協の概況報告(各理事・監事より)
- 前回理事会から6月初旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- 兵協連第63回通常総会の運営について
- 兵庫JCC幹事会の開催報告
- 兵庫JCC創立30周年記念
第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会について
- 総会直後の第1回理事会協議事項(案)について
- 本日の理事会以降、役員の辞任届が出た場合の対応について
- 2013年度兵協連研修計画について
- 2013年度東日本被災地ボランティア支援活動日程案について
- 小野田理事退任について

単協人事

生協名	役職名	氏名
生活協同組合コープこうべ	理事長	山口 一史
生活クラブ生活協同組合都市生活	理事長	山下 尚子
西宮市職員生活協同組合	理事長	掛田 紀夫
兵庫県学校生活協同組合	専務理事	林田 直喜
神戸大学生生活協同組合	理事長	滝川 好夫

生協名	役職名	氏名
兵庫県立大学生生活協同組合	理事長	奥田 孝一
	副理事長	井内 善臣
神戸親和女子大学生生活協同組合	理事長	神吉 脩
園田学園女子大学生生活協同組合	専務理事	塩野 晴也
生活協同組合連合会大学生協阪神事業連合	理事長	小山 修平
神戸市民生活協同組合	専務理事	眞田 尚

JF

JF 神戸市

大量発生するヒトデの原因究明を… JF神戸市がヒトデを駆除

JF 神戸市（山田 隆義組合長）は近年、大量発生するヒトデを、操業時に海に返すのではなく、陸に揚げて調査するとともに駆除を行う取り組みを一昨年から行っています。5月18日(土)には、同JFの漁業者が一斉にヒトデを持ち帰り、天日干しにしました。

ヒトデの大量発生が、魚や二枚貝に影響を与えているとの漁業者の声を受け、NPO 法人須磨海産生物調査研究所（代表理事 佐名川 洋之氏）



次々とヒトデの入った水槽が開けられていきます

と同JF底曳網協議会が検討した結果、大量発生の原因を探るべく、まずは神戸の海域の生物調査として、底曳網にヒトデが混獲されたときの魚介類の名前、数量のほか、操業海域の緯度・経度を記録する活動が進められてきました。

今回はヒトデが産卵するこの時期にあわせて、通常操業する海域で、底曳網漁業を行い、混獲されたヒトデを駆除するというもので、東須磨地区、駒ヶ林地区をはじめJF兵庫（糸谷 安一組合長）の協力も得て、15隻の漁船が参加しました。朝から約5時間の操業で、水揚げされたヒトデは約2トン弱。水揚げ後は天日干し・塩抜きされたあと、処分されるとのことです。

関係者によると、ヒトデは肥料にされるほか、農家の方がシカの撃退のため紐でぶら下げるなど有効利用されています。また、調査で集めたデータは2～3ヶ月に一度公表しており、一般市民に大阪湾の底生生物について関心を持ってもらい、環境保全活動に繋がりたいとしています。



ヒトデの駆除は今後も続きます

同JFは、今後も調査活動を継続し、ヒトデ大量発生の原因究明とともに、効果的な対処方法の開発に期待を寄せています。

JA

JA 兵庫中央会

協同組合運動の実践を目指して —県内全役職員にJA綱領学習資材を配布—

JA兵庫中央会では、協同組合運動を実践できる「人づくり」を進めるため、県内JAグループを挙げて、「JA綱領」学習促進運動に取り組んでいます。その一環として、このたびJA綱領学習資材である「実践！JA綱領—わたしたちの仕事がめざすもの—」を県内JAや連合会、中央会の全役職員に配布しました。

体裁はオールカラーの10頁。内容はJA綱領の解説や、グループ学習用のワークなど。職場内でJA綱領の学習をグループ単位で行い、職場としてすべきことを考え、実践していくことを目的としています。

また、役職員が常時携帯し、唱和などで活用するために、名刺サイズのJA綱領カードも同様に配布しました。

さらに、組合員や利用者にも意識していただくために「JA綱領ポスター」の斡旋を行い、県内JAや連合会、中央会の本支店などで4月より320枚掲示されています。

今後も、JA兵庫中央会は協同組合運動を実践していくための取り組みを積極的に提案していきます。



JA綱領を分かりやすく解説した学習資材



最近の消費生活相談事例

かつて投資被害に遭った人が狙われる 二次被害の相談が急増 ～「過去の被害を救済・取り戻す」と言って さらに支払いを求める～

事例

10年以上前に未公開株の投資被害に遭ったが、それ以降「被害を取り戻す」という電話が何度もある。今回は「〇〇市消費生活センター」を名乗る電話があり、被害を取り戻すと電話のあった会社について「この会社は信用できる」と言われたので安心し、後日、その会社の人と会う約束をした。よく考えてみると不審に思う。本当に信用できる会社か。

【アドバイス】

以前に未公開株やファンド型投資商品等に投資し被害に遭った人に対し「被害を取り戻す」と勧誘し、手数料や弁護士費用等の名目で支払いを求めるという相談が増えています。2013年3月の相談件数は前月2月（41件）の約1.5倍の60件となっています。

誘いの手口は様々です。消費生活センターや弁護士、NPO等を名乗り「被害救済する」と言って弁護士費用などを請求する手口や、あらかじめ「被害を取り戻す」と連絡があった会社について、公的機関である消費生活センター等を名乗り、その会社の信用性を保証すると話し、相手を信用させる手口もあります。

実際は被害が救済されるどころか、弁護士費用や税金、保険料など、様々な名目で次々に支払いを求められます。「過去の投資被害を救済します」という勧誘は信用せず、不審な場合は、すぐに最寄りの消費生活センターへ相談してください。

(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

兵協連「東日本被災地支援活動」のご案内

被災地域の社会基盤は徐々に震災前の状況を取り戻しつつありますが、暮しに関わる土地、地域、産業の復興は遅れており、復興は未だ道半ばと言わざるをえません。そこで、被災地を忘れない、息の長い支援活動を兵協連として計画いたしました。ご参加いただきますようご案内いたします。



兵協連事務局は宮城県「中山熊野堂仮設」を訪れました(2012年10月)

●支援先

会員生協の尼崎医療生協、神戸医療生協が職員を現地「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」に派遣されています。両生協が取り組む宮城県山元町仮設住宅への支援活動に参加します。

●支援日程(変更が発生する場合もあります)・募集人数

- ①9月20日(金)～21日(土) 4名
 - ②10月4日(金)～5日(土) 4名
 - ③11月1日(金)～2日(土) 4名
- (購買生協、大学生協、医療生協、共済生協の4つの分野から1人ずつ合計4人。各日程に兵協連事務局1人が随行します)

●行程<各日程共通>

出発日(金) 19時伊丹空港集合
伊丹空港：19時35分発
「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」宿泊
(センターは民家仕様です)
帰着日(土) 9時～16時 支援活動
仙台空港：17時35分発
伊丹空港：18時55分着・解散

●支援活動内容の一例

- ①医療生協が取り組む仮設住宅でのふれあい喫茶や懇談会
- ②仮設住宅からの引越し、家具移動のお手伝いや住宅の草刈り など

●参加費(ご負担いただくもの)

- ①食事代
- ②伊丹空港までの往復交通費

●兵協連負担

- ①往復飛行機代金(伊丹～仙台)
- ②現地交通費
- ③ボランティア保険代金

●お申し込み・お問い合わせ

7月10日(水)までに兵協連事務局までFAXか電子メールでお申し込みください。
FAX：078-392-2059
メールアドレス：hyogo@kobe.coop.or.jp

兵協連第4回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内



事業・活動と職場の労働安全衛生などの大切さについて研修会を開催いたします。働きやすく、安全な職場環境のあり方について、実例をあげながら解説いただきます。役職員の皆さまのご参加をお待ちしています。

お申し込み・お問い合わせ
兵庫県生協連 TEL078-391-8634

「労働安全衛生研修・学習会」

日時：7月26日(金) 14時～16時30分
会場：兵庫県民会館 9階「901」
対象：会員生協・団体の役職員(定員36名)
講師：茶園 幸子 氏(社会保険労務士)

編集後記

背中にツツ・と何度も冷や汗をかきながら(？)、今年も会員生協みなさまのご支援により無事、兵協連第63回総会を終えることができました。ありがとうございました。ご報告！行政の方々やみなさまからのご祝辞、会員生協の代議員による活動報告からも、「消費者が安心して暮らせる地域社会づくり」に貢献することが生協の役割だと改めて認識しました。先月、事務局3人で建物まわりを清掃活動いたしました。花壇に集まった蜂の攻撃に逃げ惑う場面もありましたが、道路も気持ちもクリーンになり、とってもいいな地域活動の第一歩(3人で三分分?)でした。(中尾)

- 7月5日(金) 第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 (県民会館 けんみんホール)
- 7月9日(火) 兵協連第1回医療生協部会 (県民会館 ばら)
- 7月12日(金) 兵協連第2回ピースアクション委員会・企画委員会 (県民会館 ばら)
- 7月15日(月) 兵協連三役と事務局との連絡会 (兵協連事務局)
- 7月18日(木) 兵協連第2回生協活動委員会 (県民会館 ばら)
- 7月19日(金) 兵協連第1回共済生協部会 (県民会館 ばら)
- 7月23日(火) 兵協連第1回保健・医療・福祉研究会 (県民会館 1101)
- 7月24日(水) 兵協連第1回監事会 (兵協連事務局)
- 7月26日(金) 兵協連労働安全衛生研修・学習会 (県民会館 901)
- 7月29日(月) 兵協連第1回大学生協部会 (県民会館 ばら)
- 7月30日(火) 兵協連第2回生活問題研究会 (神戸市生活情報センター)

県連日誌